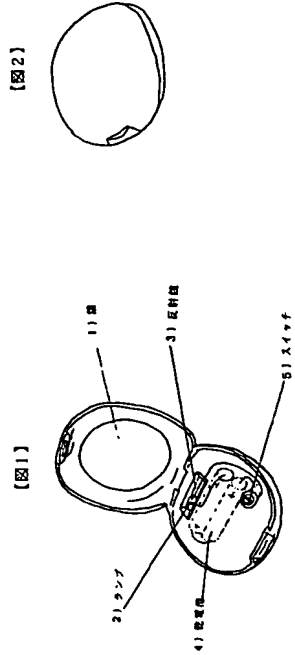


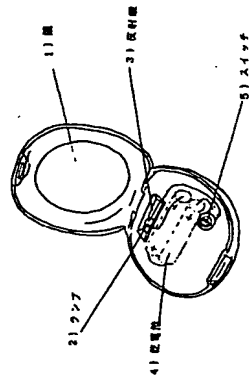
【図 1】 本考案の使用状態の時の斜視図である。  
【図 2】 本考案の折りたたんだ時の斜視図である。  
【符号の説明】  
1は鏡 2はランプ 3は反射鏡  
4は乾電池 5はスイッチ



【手続補正書】  
【提出日】平成6年2月17日  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】考案の名称  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【考案の名称】携帯用照明つき鏡

(19)日本特許庁 (JP) (12) 公開実用新案公報 (U)  
(11)実用新案出願公開番号  
実開平7-5515  
(43)公開日 平成7年(1995)1月27日

(51)Int.Cl. <sup>4</sup>	F I	技術表示箇所
A 4 5 D 42/00		
42/04	E	片内整理番号 2119-3B
A 4 7 G 1/00	D	2119-3B
F 2 1 L 11/00	R	6908-3K
		8815-3K
審査請求 未請求 請求項の数 1 番面 (全 2 頁)		
(21)出願番号	(71)出願人	39003942 興業工業株式会社
(22)出願日	(72)考案者	東京都北区昭和町 3 丁目 1 番 2 号 関本 晋介 東京都北区昭和町 3 丁目 1 番 2 号



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

この考案は鏡に、対物を照らすための照明ランプをつけ、携帯用照明ランプ付鏡に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来の携帯用鏡は対物を照らすための照明ランプは付いて無い。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

これは次のような欠点があった。

映画館や劇場では、感動したりして出る涙のため化粧直しが必要になるが、暗いので今までの携帯用鏡では対物を明確に見ることができなかった。

さらに、コンタクトレンズの修正は不便であった。

本考案は、これらの欠点を除くためなされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

鏡（１）に対物を照らすための照明ランプ（２）とランプの光を効率よく対物に当たる様な反射鏡（３）とランプを動作させるための乾電池（４）と、それをON/OFFするスイッチ（５）を装着する。

本考案は以上のような構成よりなる携帯用照明ランプ付鏡である。

【0005】

【作用】

スイッチ（５）をONすると、照明ランプ（２）が点燈し、反射鏡（３）により対物を効率よく照らし、鏡（１）に対物が写る。

【0006】

【実施例】

以下本案の実施例について説明する。

鏡（１）に対物を照らすための照明ランプ（２）とランプの光りを効率よく対物

に当たる様な反射鏡（３）とランプを動作させるための乾電池（４）と、それをON/OFFするスイッチ（５）を装着する。  
本案は以上のような構成で、これを使用するときは、スイッチ（５）をONすると照明ランプ（２）が光る。この光は反射鏡（３）で対物を効率よく照らすため暗い場所でも使用する事ができる。

【0007】

【考案の効果】

本考案は暗い場所でも、照明ランプを利用すると、鏡を使用する事ができるの  
で暗い場所での化粧なおし又は、コンタクトレンズの修正に便利である。